

能登半島
地震

被災地に足を運び、願い、届け、提案・実現へ



県

県議会第2回定例会（5月28日～6月20日）で、日本共産党の佐藤正幸県議は、環境農林建設委員会（6月18日）で質問にたち、最終日の補正予算採決にあたっては、「被災者支援に全力をあげるべき現在、大企業コマツ1社のためとされた金沢港大浜大水深岸壁の延伸計画、中止を求める声が広がる大阪・関西万博への催事出展に向けた実施計画などは、中止・先送りすべき」と反対討論にたちました（写真上）。

仮設住宅入居者の生活環境改善せまる

——「配食サービス受けられるように」（松村防災担当大臣）

佐藤県議は、馳知事の「仮設住宅に入居したら自立しなければならぬ」との姿勢を批判、「部屋がせまい」「隣の声が聞こえる」などの仮設住宅入居者の声を紹介、その改善を要望しました。



「支援センター」は仮設住宅を訪問、支援物資を届け要望を聞いています。佐藤県議はその声を県政に反映させています。

これらをふまえ、日本共産党の田村貴昭衆院議員は、6月5日の災害対策特別委員会で、仮設住宅に入居すると、救助の対象ではなくなる」と弁当や炊き出しが打ち切られていることを指摘、「新たな支援を検討すべき」と迫りました。松村祥司防災担当大臣は「配食サービスを受けられるように市町と連携する」と答弁、佐藤県議は実現させるために頑張ります。

みなし仮設の

エアコン設置補助へ



東日本大震災での宮城県において、災害救助法にもとづく仮設住宅でのエアコン設置との公平性から、みなし仮設の賃貸住宅のエアコン設置が自己負担でなく国費で行なわれたことを紹介。県は、エアコン設置費用助成に踏み出しました。

農/政/局/交/渉

5月8日、北陸4県の農民運動全国連合会（農民連）が金沢市の北陸農政局に、「仮設住宅に入居したら食料支援が打ち切られる。政府備蓄米の活用を」と要望。佐藤県議も参加し、担当者は「知事からの要望があれば供給する準備はある」と答えました。

声をあげ、願い実現

高速料金無料

震災ボランティア活動の高速道路料金無料措置が6月末となっていることから、その延長を求めた佐藤県議に森田典子生活環境部長は「3カ月ごとの更新となつており、本日付で9月末まで延長になった」と答弁しました。

国保税減免

国民健康保険税の減免措置が奥能登地方で広がるもと、「被災者共同支援センター」（日本共産党などが羽咋市に設置）の穴水町への申し入れに、町は実現を約束しました（保険税の全額、または2分の1減免など）。

県議会議員・佐藤まさゆき 県政レポート

2024年 夏号 発行：日本共産党石川県議団事務局

〒921-8022 金沢市中村町9-10 電話／076-243-2877 FAX／076-247-1080 E-mail／satou@gikai.pref.ishikawa.jp ■ご意見・ご感想をお寄せ下さい



日本共産党



佐

藤県議は4月18日、「被災者共同支援センター」（責任者＝藤野保史前衆議院議員）と党地方議員団の政府要望に参加し（写真上）、被災者支援に本腰を入れよと強調。志賀原発は廃炉しかない、と要請してきました。

農林漁業支援を 作付面積コメ6割・野菜5割

「奥能登における作付け面積は、水稲で昨年の約6割、春に作付けする野菜は約5割」の原因について質問。「農地・水路の被害に加え、農業機械の被害、人材の確保が困難など理由は多岐にわたる」と吉田健一農林水産部長が答弁しました。

公費解体促進へ 国会議員団と連携

日本共産党の仁比聡平参議院議員は、6月7日の災害対策特別委員会で、被災家屋の公費解体を担う法務局の登記官（職権で建物の「滅失登記」を行う）が奥能登地方で3人しかいない実態を告発、全国からの支援を求めました。この質問を受け、佐藤県議は全国からの応援体制がどうなっているか、質問しました。

土砂災害の危険から命守れ

土砂災害警戒地域に住んでいた住民が、地震で被災した家屋に住み続けざるを得ない現状のもと、梅雨の時期にあたり、土砂災害の危険から命を守る対策を求めた佐藤県議。桜井亘土木部長は「中能登以北の市町では、土砂災害の発表基準を7割に引き下げて運用。新たに観測機器を設置した所もある」としました。



4メートル隆起した輪島市門前の鹿磯漁港

討論で紹介 「ヒザを突き合わせて」～被災者からの手紙～

佐藤県議は最終日の討論で、昨年2023年5月の奥能登地震により、「悔しさと悲しさで涙を流しながら両親が築いた家を

解体し故郷を離れた」高齢の方からの手紙を紹介しました。

「残してきた両親のお墓も地震の隆起で土台からひっくり返ったまま」「私の故郷は前が海で後ろが山という典型的な海岸線の集落。住みよいと移住者もあり、老人ばかりでなく青壮年に小中学生、幼児もいます」

海の幸、海遊びや釣り、夕日がきれい、浜イソガニやアサギマダラ、アゲハチョウにウグイスなど自然豊かな所。畑での作物栽培や山での山菜取り、山林の手入れなども楽しみと生きがいの

持てる地域です。少ない住民でも秋のキリコ祭りもでき、住民揃っての浜掃除など協同して取り組む素晴らしい集落です。

「復旧・復興に取り組んでおられる関係者の皆さんが、集落の皆さんとヒザを突き合わせて真剣に相談してくれることを望んでいます」

安全安心な集落へ、裏山の復旧対策や防風砂防林などで、美しい砂浜と海岸を取り戻すこと。台風や地震・津波などの災害に、遠くの公民館避難ではなく、集落内でも避難できる建物、離れた住民や友人が帰郷しても安心して休憩や泊まることができ、何よりも住民の憩いの場となるような頑丈なセンターが必要です。

どうか、小さな集落も見逃さないように目配りした復興プランの具体化をお願いします。

ゆきづまった 自民党政治と 対決



昨年「しんぶん赤旗」日曜版のスクープがきっかけとなった、自民党の裏金問題に象徴される「自民党政治の全体が末期的な状況」のもと、日本共産党は県議会でも自民党の悪政と真正面から対決。県議会として、国の悪政から県民の命と暮らしを守る役割を果たせ、との立場から請願の紹介議員となり、意見書も提案。採択、可決へ全

力をあげました。

北陸新幹線の敦賀延伸ルートをめぐる議会決議に関しては、どのルートであれ、膨大な建設費用の地元負担、環境問題、並行在来線などの問題があることを強調。全会一致の問題など、議会の申し合わせ事項を空文化させる乱暴なやり方である点からも反対しました。

意見書・請願の各会派の態度

	共産党	自民党	公明党	未来	参政
災害救助法の大幅見直し求める意見書	◎	×	×	○	×
共同親権導入の民法改正見直し意見書	◎	×	×	×※	×
学費値上げ反対等意見書採択請願	◎	×	×	×	×
ケア労働者の賃上げ等意見書採択請願	◎	×	×	×	×
最低賃金引き上げ意見書採択請願	◎	×	×	○	×

◎:提案・紹介 ○:賛成 ×:反対 ※:1人賛成